



四旬節、2018年

親愛なる姉妹の皆さま

再び私たちは、ご復活の喜びを生きるために、回心へと導く道を開いてくれる「恵みと救いの時節」である四旬節を迎えます。

第一に、いつくしみの時節です。平和、正義、そしてすべての権利を探究する時です。神に信頼し、連帯性を可能にする時期です。それは砂漠に入って、誘惑に直面し、神の言葉が湧き出る時です。

最初の愛に戻り、新しいものを認識し、生まれているものを知るために歩く時です。すなわち希望し、信頼する時です、それは夜を抱きしめてくださる時です。その夜は常に夜明けの序曲であり、常に日の出があります。

私たちは、灰の水曜日の儀式で始めます。これは昨日、2000年前ではなく、それ以上に遠い頃から来る儀式であり、10世紀には教会がそれを象徴として聖餐式に取り入れています。それは私たちを神の救いに近づけさせます。

しかしながら、灰も、砂漠も、断食も、節制も、援助も、祈りも魔法の看板になりません。ナザレのイエスが私たちに提案した生活様式に従って行動しないなら、すべては何もなりません。

私たちの援助が、連帯性をもたらせるために、私たちは、何をすべきでしょうか。パレスチナの道を旅して具体的な方法で、御父との一致を表現しているナザレのイエスの神と調和を感じるのを助ける祈りを、どのように獲得すればよいのでしょうか。私たちの断食が、宗教上の義務を果たすことを超えて、私たちを支持してくれる禁欲者になるために私たちに欠けているものは何でしょうか。

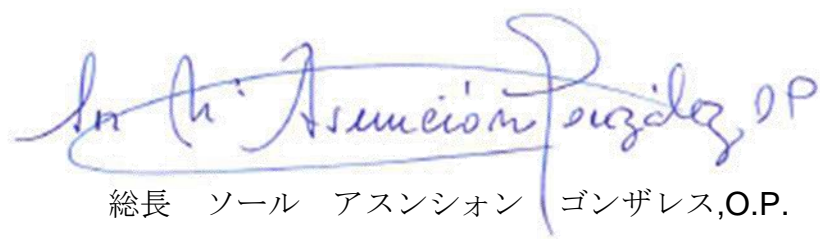
私たちの歩みのすべてのステップが、笑顔で灯されなければ、何も残っていません。キリスト者は、「神の手のひら」で神を知っている人の喜びを明らかにする必要があります。子供たちの父親のように、その人を気遣っている神をもっていたのはどのような民でしょうか。喜びは、私たちがイエスの福音の強さを信じる人々であることを示す最善の方法です。

歩み始める時です。砂漠を横断するために、「最長の道は一つのステップから始まります」。砂漠の終わりには、エルサレム、十字架、そしてそこに、カルヴァリオの近くに、新たに開かれた墓・・・、復活の奇跡があります。

姉妹たちよ、歩き始めましょう。私たちは、一人ではないので、恐れることはありません。

ご復活おめでとうございます！

姉妹的抱擁をこめて。



総長 ソール アスンシオン ゴンザレス,O.P.